

# 方面隊の領域横断作戦能力を強化



第766号  
令和2年11月20日

要望事項  
**必成**  
北方後進中

発行：北部方面總監部広報室



頻繁な小移動を行う99式自走155mm榴弾砲(第11旅団)



妨害電波の送信(第1電子隊)

## 職種機能等強化(火力) 情報と火力の連携を強化、 人員約1,600名、火炮等約20門が参加



目標情報に基づく203mm自走榴弾砲の射撃(第1特科団)



敵砲迫を標定するP-16レーダ(第5旅団)



敵砲迫を標定するP-13レーダ(第7師団)



訓練部隊指揮所(第2師団)



総合ターゲティングセンター(第1特科団等)

方面隊は、10月3日から12日までの間、矢白別演習場において、第1特科団(団長 大場陸将補)が担任して、職種機能等強化(火力)を実施した。

本訓練は、陣地防御における情報と火力の連携を強化するとともに、総合戦闘力を最大限発揮し得る方面隊の特科部隊を練成することを目的に行われ、第1特科団のほか、各師団の1旅団、3旅団、3旅団の3旅団、北部方面航空隊、第1電子隊、北部方面情報隊、情報教導隊等が参加した。

今回の訓練では、訓練部隊が領域横断作戦に関する調整を実施するため、火力、電子戦、情報、空域に係る調整機能を統合した総合ターゲティングセンターを構築し、対抗部隊の目標情報を訓練部隊の観測機関と情報部隊が収集・共有して、射撃指揮から火力発揮までの一連の行動について演練した。

本訓練を通じて、各標定機関の標定能力、領域横断作戦における火力と情報の連携及び実弾射撃について、練度の向上を図った。



西部方面管区へ向け乗船

西部方面管区に向け機動展開

機動展開訓練

方面隊は、10月11日から、西部方面管区への機動展開訓練を実施した。

第2師団、第5旅団、第1特科団、第1高射特科団、第3施設団、北部方面後方支援隊、第1電子隊、北海道補給処等の部隊が本訓練に参加し、陸路、海路で機動するとともに、海上機動間、通信網を構成して、ビデオ会議を実施した。

本訓練を通じ、各種事態に有効に対処するため、迅速に機動展開する能力を向上させるとともに、機動間、常続的に通信を維持(海上機動間)

西部方面管区に機動展開した各部隊は、引き続き02鎮西演習等に引き、復路についても同様の訓練を実施した。



常続的に通信を維持(海上機動間)

# 北部方面隊創隊68周年記念行事

## 68周年を迎え決意を新たに

方面隊は、10月23日、24日の両日、北部方面隊創隊68周年記念行事を実施した。

今年度の記念行事は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、北海道殉職隊員追悼式、優秀隊員総監招待行事等、一部の行事のみ開催した。

記念行事の開催に当たり、方面総監(前田陸将)は、「今の我が国は平和と独立そして繁栄があるのは、自衛隊が中北部方面隊・隊員が営々と隊務を積み上げ、この国の抑止力、対処力の骨幹として任務を遂行してきた証左であり、これまでの諸先

## 北海道殉職者隊員追悼式

10月24日、真駒内駐屯地において、ご遺族、北海道副知事をはじめ、ご来賓の方々、各部隊長等、多くの方々が参列する中、北海道殉職隊員追悼式を執り行い、厳粛な雰囲気の中、三百二十柱の職に殉じられた御霊に慎んで哀悼の誠が捧げられた。

総監は追悼の辞で、「時代は御霊を静かに追悼することも許さず、我が国周辺の安全保障環境は、一層厳しさを増すとともに、現在に至っては、新型コロナウイルス感染症の蔓延や各種自然災害も頻発しております。今回、追悼式が例年に比し縮小して行われることに悲しみを禁じ得ません。今後、私達は、更に厳しい任務が与えられようとも、御霊の尊



追悼式典

い志と幾多の教訓を生かし、必ず達成・実現するとともに、御霊を亡くした不幸な事故が二度と起こらぬよう努めて参ることをここに重ねてお誓い申し上げます。」と述べた。

志半ばで職に殉じられた先人の御霊に敬意を表し、事に臨んでは危険を顧みず身をもって職務の完遂に努めることを改めて誓った一日となった。

## 優秀隊員総監招待行事

隊務遂行に功績のあった隊員とご家族を招待して、式典と会食が行われ、総監から褒賞状と記念品が授与されたほか、総監夫妻が隊員一人ひとりに声をかけ、その功績を称えた。

### 優秀隊員褒賞状受賞者

- |                               |                               |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 第2師団第3普通科連隊<br>1等陸曹 升川 拓也     | 北部方面航空隊北部方面管制気象隊<br>陸曹長 林 健次郎 |
| 第2師団第25普通科連隊<br>准陸尉 佐々木 道幸    | 北部方面会計隊第342会計隊<br>陸曹長 新田 厚弘   |
| 第2師団第2後方支援連隊<br>1等陸曹 小林 伴洋    | 北部方面衛生隊<br>陸曹長 太田 明           |
| 第7師団司令部<br>1等陸尉 佐々木 喜規        | 北部方面音楽隊<br>2等陸曹 江木 貴伯         |
| 第5旅団第5通信隊<br>1等陸曹 梶 寿徳        | 遠駐駐屯地業務隊<br>防衛事務官 河岸 俊博       |
| 第11旅団第18普通科連隊<br>2等陸曹 坂井 伸広   | 美幌駐屯地業務隊<br>防衛技官 竹内 豊         |
| 第1特科団本部中隊<br>陸曹長 井上 学         | 別海駐屯地業務隊<br>防衛技官 米井 美樹        |
| 第1高射特科団本部<br>准陸尉 野村 郁雄        | 北海道補給処沼田弾薬支処<br>防衛技官 片岡 武志    |
| 第3施設団第105施設器材隊<br>2等陸曹 長谷川 謙二 | 自衛隊札幌病院<br>防衛技官 佐々木 敦         |



優秀隊員褒賞状授与式

## 総監感謝状贈呈

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、式典を中止したが、永きにわたり、北部方面隊への協力、防衛基盤の育成、退職自衛官の就職支援協力、予備自衛官等の雇用協力、自衛官募集活動等において、著しい功績があった個人、団体に対して、感謝状と記念品を贈呈した。

### 感謝状被贈呈者(敬称略・順不同)

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 川崎近海汽船株式会社<br>倉井 俊勝 | 学校法人 帯広養学園<br>株式会社エイチシーエム |
| 齊藤 元彦               | 株式会社ほくやく                  |
| 佐藤 政記               | 社会福祉法人 函館大庚会              |
| 曾根 興三               | 損害保険料率算出機構                |
| 高橋 麗秋               | 札幌自賠責損害調査事務所              |
| 戸田 安彦               | 苦小牧埠頭株式会社                 |
| 成松 英智               | なかせき商事株式会社                |
| 西川 将人               | 日本通運株式会社                  |
| 保木本 南海江             | 関東警送支店                    |
| 前田 篤秀               | 日本甜菜製糖株式会社                |
| 丸岡 和子               | 美幌製糖所                     |
| 三好 和子               | 北央貨物運輸株式会社                |
| 横山 実                | 北海道自衛隊退職者雇用協議会            |
| 吉井 篠                |                           |

### 【予備自衛官等雇用功労】

- |                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| 會澤高圧コンクリート株式会社<br>旭川食糧株式会社 | 旭川食糧株式会社        |
| 一般財団法人旭川市水道協会              | 株式会社スワロッププロジェクト |
| 函館タクシー株式会社                 | 株式会社フクザワ・オーダー農機 |
| 光洋警備株式会社                   | 北海道センコー株式会社     |
| 北海道東急ビルマネジメント              | 株式会社 帯広営業所      |

### 【自衛官募集功労】

- |            |            |
|------------|------------|
| 安平町        | 学校法人札幌龍谷学園 |
| 札幌龍谷学園高等学校 | 俱知安町       |
| 坂野 泰雄      | 濱野 幸子      |

## 第2師団総合戦闘射撃訓練

### 普通科戦闘団として諸職種火力を組織化し、総合戦闘力を発揮

第2師団(師団長 富樫陸将)は、9月30日から10月6日までの間、上富良野演習場において、総合戦闘射撃訓練を実施した。

本訓練は、普通科戦闘団内の諸職種の火力を組織化し、総合戦闘力を発揮する要領を演練するとともに、各級指揮官の状況判断及び指揮能力を向上させることを目的として実施され、師団隷下の各普通科連隊を基幹に、第2戦車連



主戦闘地域における普戦の防御戦闘



戦闘団指揮所



対機甲戦闘に任ずる戦車の射撃

## 第11旅団総合戦闘射撃訓練

### 増強普通科連隊としての総合的な火力発揮能力を向上

第11旅団(旅団長 酒井陸将補)は、9月9日から15日までの間、上富良野演習場において、総合戦闘射撃訓練を実施した。

本訓練は、増強普通科連隊内の諸職種の総合的な火力発揮能力を向上させることを目的として実施され、旅団隷下の第28普通科連隊を基幹に、第11特科隊、第11戦車隊等が参加して行われた。

増強普通科連隊の防



情報に基づき敵戦車に中距離多目的誘導弾を指向



敵指揮官に対する狙撃



下車展開する敵歩兵に対する砲迫射撃

御戦闘の場面を想定して行われた本訓練では、各級指揮官の指揮及び情報と火力の連携を主要演習項目に、前方地域の戦闘から主戦闘地域の戦闘(逆襲を含む)までを演練して、敵情の確実な把握、状況の変化への適切な対応、障害と連携した組織的な火力の発揮に関する練度向上を図った。

### 新隊員後期教育修了

#### 一人前の自衛官となり それぞれ部隊に配属

各部隊で行われていた新隊員後期教育が修了し、教育を受けていた隊員はそれぞれの部隊に配置となった。

新隊員後期教育は、各職種の基本となる教育を実施するもので、それぞれの職種部隊において、約3か月の教育期間中、隊員達が教官の指導を受けながら、一つ一つの動作を修得した。

各部隊に配置された隊員は、それぞれの部隊でさらに練成を重



### 第5旅団レンジャー集合教育

#### 過酷な試練を乗り越え帰還

第5旅団(旅団長 廣惠陸将補)は、7月から約2か月にわたりレンジャー集合教育を実施した。

教育の集大成である最終想定での困難な任務を完了した学生達は、9月17日、担任部隊である第6普通科連隊が駐屯する美幌駐屯地に無事帰還し、多くの隊員の出迎えを受けた。



### 准看護師戴帽式

#### 医療従事者として新たなスタート

自衛隊札幌病院(病院長 大鹿陸将)は、10月23日、第45期初級陸曹特技課程「准看護師」学生の戴帽式を挙行了した。

真新しい看護衣に身を包んだ27名の学生は、厳かな雰囲気の中、看護教官からひとりでずつナースキャップを授与された後、衛生科精神を唱和し、医療従事者として新たなスタートを切った。



### 北海道警察との共同訓練

#### 各種事態対処時における 共同対処能力を向上

第7師団(師団長 中村陸将)は、東千歳駐屯地及び北海道大演習場において、北海道警察との共同訓練を実施した。

本訓練は、警察と自衛隊との連携要領について演練し、各種事態対処時における共同対処能力の向上を図ることを目的に実施され、第7特科連隊と道警機動隊が参加した。

武器を所持した武装工作員等が我が国に上陸して、一般の警察力では治安維持ができない事態が発生したとの想定で実施された本訓練では、警察車両により自衛隊車両を現地まで誘導する緊急輸送訓練、共同



### 北海道原子力防災訓練

#### 関係機関との連携要領と 住民支援要領を演練

方面隊は、10月31日、北海道及び泊原発周辺自治体の主催で実施された、北海道原子力防災訓練に参加した。



### 木原総理大臣補佐官視察

#### 札幌・真駒内・丘珠駐屯地を視察

方面隊は、10月15日、16日の両日、木原総理大臣補佐官による視察を受けた。

札幌駐屯地では、総監との懇談及び方面隊の概況説明、真駒内及び丘珠駐屯地では、装備品の説明、試乗等をそれぞれ実施して、方面隊の現状及び特性についてご理解いただいた。



防災技術の向上、地域住民の防災意識の高揚及び防災対策に関する理解促進を目的に、意思決定訓練と実動訓練に区分して行われた。



また、泊原発周辺で実施された実動訓練には、各師・旅団の化学科部隊及び第11旅団隊区担任部隊が参加し、車両や航空機での住民の避難支援要領について演練するとともに、オフサイトセンター要員のヘリ輸送支援、避難住民に対する退域時検査支援及び簡易除染支援要領を演練した。

新隊員前期教育開始

3か月の教育開始

北部方面混成団(団長岡本1佐)は、10月6日から隷下の第120教育大隊において、新隊員前期教育を開始した。入隊した隊員達は、初々しくも堂々たる行進を披露して入隊式に臨み、全員が声高らかに宣誓して自衛官としての第一歩を歩み始めた。隊員達は、約3か月にわたり、自衛官としての基本的な教育を受けた後、各職種部隊で更に約



入隊式(第120教育大隊)

オピニオンリーダー例会

方面隊への理解の促進

方面隊は、9月25日、札幌駐屯地において今年度第1回目となるオピニオンリーダー例会を開催し、第8期と今年度新たに委嘱した第9期の方々にご参加いただいた。今回の例会は、部内施設で実施され、方面隊の概要、オピニオンリーダー活動と今後の活動スケジュールについて説明を実施した後、総監からの挨拶、記念撮影、会食を実施した。新型コロナウイルス



記念撮影(第8期)



記念撮影(第9期)

感染症拡大の影響で、3月の例会が中止となつて以降、ほぼ活動ができないう状況であったが、今後、オピニオンリーダーの方々には、できる限り多くの活動に参加していただき、方面隊への意見提供とそれぞれご活躍されている分野で、自衛隊及び北部方面隊の情報を発信していただく。



令和2年度自衛官等採用案内



募集種目	受付期間	試験期日	合格発表	応募資格	
自衛官候補生	随時受け付けております。	札幌	11月27、28日 12月18、19日	受付時にお知らせします。	18歳以上33歳未満の男女
		函館	12月5~7日		
		旭川	12月15、16日		
		帯広	12月5、6日		
第3回一般曹候補生 (陸上要員:男子)	令和3年1月8日まで	1次:令和3年1月16日 2次:令和3年2月10~16日	1次:令和3年1月27日 最終:令和3年2月26日	18歳以上33歳未満の男子	
高等工科学学校生徒	推薦	11月30日まで	令和3年1月10、11日 ※いずれか1日を指定	令和3年1月21日	15歳以上17歳未満の男子
	一般	令和3年1月6日まで	1次:令和3年1月23日 2次:令和3年2月4~7日 ※いずれか1日を指定	1次:令和3年1月29日 最終:令和3年2月18日	
貸費学生	令和3年1月15日まで	令和3年1月30日	令和3年4月23日	大学理・工学部の3・4年次 大学院修士課程に在学	

◇ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から試験日程が変更になる場合があります。

採用試験 自衛官



国家を守る、公務員。

さまざまな職種・専門分野で活躍する自衛官を募集しています。ご家族・ご親戚・ご友人などで、自衛官になりたい方や興味がある方がいらっしゃいましたら、お近くの地方協力本部に情報をお寄せください。

一般曹候補生と自衛官候補生の採用年齢は 18歳以上32歳以下です!



札幌地方協力本部 011(631)5472



旭川地方協力本部 0166(51)6060



帯広地方協力本部 0155(23)5882



函館地方協力本部 0138(53)6241

◇ 試験日程、各種イベント及び説明会等の情報は、最寄りの自衛隊地方協力本部のHPをご確認ください。

自衛官の魅力を動画で紹介!!



動画はこちらから



なぜ自衛官に? フトコロはどう? 基地生活はどう?等 現役自衛官がぶっちゃけました!



あなたはどんな仕事がしたいですか? 今の仕事に満足していますか? 自衛隊なら、ソレ、できます!



やっぱり体育会系? 集団生活厳しそう? 毎日ハードそう?等 自衛隊のソレ、誤解ですから!